

自治体保健師のための地区活動評価尺度の開発 永井ら 日公衛学会誌70(11)759-774, 2023

- ・方法 ①フォーカス・グループ・インタビュー ②全国保健師
- ・対象 2074人 50万～ 20-50万 5-20万 ～5万
986 421 513 154
- ・回答 721人 282 150 220 69
- ・調査 **地区活動の内容に関する項目** 18
地区活動に伴う保健師の認識 14
組織体制に関する項目 15
保健師の道徳的能力尺度 MCQ-PHN (Asaharaら) 15
行政保健師の職業的アイデンティティ尺度 PISP (根岸ら) 37
- ・分析 因子分析、確認は共分散構造分析
- ・結果

自治体保健師のための地区活動評価尺度の開発 (2) 保健師の認識

保健師としての充実感(3)

- 私は保健師の仕事から達成感を得られる
- 私は保健師の仕事に満足している
- 私は保健師の活動が楽しい

地域/地区住民への愛着(4)

- 私は住民とつながることができてうれしい
- 私は地域地区への愛着がある
- 私は住民に対して何ができるか、常に考えている
- 私は住民の力を信じることができる

地域/地区住民との一体感(4)

- 私は住民と相談し合える関係である
- 私は住民から頼りにされている
- 私はいつでも住民とともにある存在である
- 地域/地区住民の間につながりができていると思う

自治体保健師のための地区活動評価尺度の開発 (1) 地区活動の内容

地域/地区の特性を考えた活動(8)

- 地区診断に基づき、重点課題や活動方法の検討
- 個人支援を地域/地区活動に発展させている
- 保健師活動成果を住民に知らせる努力している
- 保健師の存在や活動を住民に知らせる努力している
- 地域/地区の将来の姿を考えて活動している
- 個人の課題から地域/地区の課題をみつけている
- 個人と地域/地区の両面からみている
- 住民や関係者と同じ目的を持っている

住民とのつながりを求める活動(6)

- 出向くことを意識して行っている
- つながるきっかけを意識してつくっている
- 住民と話し合いながら活動を進めている
- 住民の声を聞く努力をしている
- 住民から地域の情報を得ている
- 住民と一緒に課題を考えている

地域/地区という単位を意識した活動(3)

- 特性(自然、資源)を考えて活動している
- 特性(暮らし、文化、風習)を考えて活動している
- 住民を集団として捉えている

自治体保健師のための地区活動評価尺度の開発 (3) 組織体制

組織方針の明確さ(5)

- 上司や統括的立場の保健師に保健活動についての明確な考えがある
- 所属する自治体全体に、保健活動と連携する地域地区づくりの方針・体制がある
- 保健師が、地域地区を集団と捉えて保健活動を行うための研修を受ける機会がある
- 保健師が地域/地区活動について、上司や統括的管理的立場の保健師と話し合う環境がある
- 保健師の活動が、所属機関の多職種から理解されている

地域/地区の情報共有の機会の確保(8)

- 保健師が地域/地区の課題を他の保健師と共有する機会がある
- 保健師が地域/地区の課題を多職種や関係機関と共有する機会がある
- 地区活動担当者の情報共有・相談の場所として定期的なミーティングがある
- 保健師は自分の地域/地区の活動計画を立案している
- 保健師の地域/地区活動について、住民に対し広報や知らせる機会がある
- 日常的に保健師相互の情報共有・相談支援の機会がある
- 保健師の定例会や研修が行われている
- (部内会議、セナー連絡会、IJA連絡会、事業ごとの連絡会、支所構成職員との会議など)
- 保健師が地域/地区活動に専念することができる体制がある